

ウリハムシ防除対策

2019/5/26 福島 巖

現在野菜類の植え付け、育成中ですが無農薬・有機栽培を続けるためには虫対策が大問題です。



毎年悩まされるのが左の写真にある一見、蛍に似ている「ウリハムシ」です。カボチャ、キュウリ、ゴーヤ、ズッキーニなどウリ科の葉に取りついて食べられてしまいます。

葉が食べつくされて苗木が死んでしまう事もあります。近づくと舞い上がって飛んで逃げてしまいます。

この虫の防除策

ネットなどでその対策を調べてみるとまず最初に出るのが農薬散布：マラソン液などが効果あると出ていますが無農薬なので使えません。

成虫は反射光を嫌うので

- ① シルバー色のマルチシートを敷く
- ② 銀色の光反射テープを周囲に張り巡らせる
- ③ 防虫ネットや袋で覆う（あんどん）などもあるが苗が小さい時は可能だが、上に伸びて大きくなるウリ類には不適です。

以上の対策はムシを付かないようにはするが、数の減少にはなっていないので基本的な退治にはつながっていません。

「ウリハムシは捕殺するしかない」と言ってペットボトル容器を使って無農薬方式を実践している沖縄県安田農園の事例を知りました。

<http://yasuda.cc/zucchini-urihamushi-2017/>

ペットボトル式捕獲器



捕獲器でとらえた姿



ペットボトルを上部で切断して飲み口部分を下に向けます。折り返しの部分をそっと近づけると驚いて飛び上がって飲み口の中に入って来るしくみです。やってみると捕獲効率は最高です。

とにかく1匹のウリハムシを捕えるのは逃げるのが素早いので大変だったがこれだと一網打尽に取れることが分かって明るい展望が開けました。安田さんありがとう。

自分で数回やっている内にたくさんムシがいる所に近づけると一斉に逃げられてしまうことがありました。ペットボトルは光を出すのでその表面に黒と赤のテープを張り付けてトライした結果逃げられる数が減り効果があったようです。